

文芸ひろば 俳句

千代田俳句同好会

庭手入済ませて待てり今日の月
沼の面に映して閑か初紅葉
里山に夕日隠れて温め酒
初紅葉小諸旅情を口ずさむ

紫陽花俳句会

小春日や命永らふ蠅の居て
歩けるあけ釣瓶落しが時刻む
千両の紅や日毎に鮮明に
日輪にきらめきて落つ銀杏の葉

投稿

勸助のこほろぎの詩いよよしむ
瓦屋の昼餉は屋根の秋の風

枝 力福 吉
石平周蛙(市川)
矢口三郎(稲吉東)
桜井愛子(中志筑)

久保庭悦子(深谷)
車田きみ(大和田)
鈴木きし(深谷)
萩原とし子(南根本)

渡辺静江(稲吉東)
田能幸雄(東野寺)

☆文化協会加盟団体紹介☆

ちよだ探鳥会

鳥たちとの出会いを楽しみに

ちよだ探鳥会は、平成8年に結成し、現在の会員数は27人です。

主な活動は、月1回の定例観察会と年1回の宿泊研修会を行っています。野鳥の生態観察にとどまらず、豊かな日本の川、山、海、の自然の中で、野鳥と人間との関わり合いを学ぼうと活動しています。

近年は、観察活動を県外へも広げており、人気を博しています。

当会もご多分に漏れず、高齢化と終身会員制を呈しています。今後の対策として、組織の柔軟化を目指し、小グループを組み、活動の分担化を検討中です。

自然との触れ合いや森林浴などを楽しみながら、バードウォッチングをご一緒しませんか。

☎遠藤秀雄 ☎029-831-6592



発表

市内で活動する文化団体などのステージ発表



↑日ごろの練習の成果を発表。観客から拍手や歓声が送られました。

第7回生涯学習フェスティバル&文化協会祭

文化の祭典

ライフステージに応じた生涯学習の推進と日ごろの文化活動の発表の場として、第7回生涯学習フェスティバル&文化協会祭を開催しました。

展示販売

市内で活動する文化団体などの作品の展示・販売



↑まゆクラフトや獅子頭、書道など市内で活動する文化団体などの作品展示。会場に訪れた人々は、思い思いの視点と鑑賞方法で展示作品を楽しみました。

▼9月30日から10月2日の3日間、あじさい館で生涯学習フェスティバル&文化協会祭が開催されました▼展示に26団体、販売に11団体、発表に18団体、体験教室に8団体などが一堂に集まる文化の祭典となりました▼毎年、同フェスティバル実行委員会と文化協会が企画運営し、文化芸術・生涯学習の分野で市民が主役となり作品の展示やステージ発表を行う場で、来場者の質問に作品の解説をしたり、ステージで生き生きと演奏や合唱、ダンス、よさこいソランを披露しました▼「生涯を通じた学習活動」は生きがいづくりの一つ。皆さんもこの秋、何かを始めましょう。

体験

触れあう喜び活動を伝える喜び

体験コーナー。生け花や切り絵、風車などいろいろな体験をしてまわることができる。これも醍醐味。



屋外ステージ

広大な広場がステージ



↑屋外ステージでは平成20年の国民文化祭でも民謡を披露した柿崎竹美さんが出演。あゆみ太鼓やよさこいソランと競演して会場を盛り上げました。

市民学芸員 雑記帳

郷土の活用化



深井征一郎さん(稲吉)

すみがうら市に住んで早35年余りになります

が、現役時代は、この地は生活の場であり単なる居住地でしかなく、心はいつも東京に向いていたような気がします。そのため、地域の歴史や文化などには、ほとんど興味がありませんでした。

今、市内の歴史や文化が知りたくなり、「市民学芸員養成講座」を受講しました。

学習していくと埋蔵文化財が茨城県トップの788箇所あることや指定(国・県・市)文化財が85件あることなど多くの史跡や文化財が豊富な地域であることに驚きました。私はほとんど知らないものばかりです。

広

りでした。報告で紹介されるさと地名編では地名の由来や史跡、文化財の紹介を楽しく拝見し、勉強になりました。

まとめ冊子にしました。また、郷土資料館主催の「地区史跡学習会」や「霞ヶ浦学講座」など多くの講座を毎週受講することで、郷土への興味が一層大きくなりました。

か

すみがうら市は、歴史が深く、色濃く残る地域ですが、市民の皆さんはどれくらい知っているのでしょうか。現在、市の活性化が求められていることはご承知のことと思います。今後この「宝物」を知って、有効に活用し、かすみがうら市の活性化のため郷土資料館で学んだことを生かしていきたいと思えます。

深井征一郎